令和8年度用 改訂新版 数学の新研究

兵庫県 高校入試情報

令和7年度兵庫県入試の全体傾向

●入試問題の構成と特色

- ○大問数は例年どおり6問。小問数は昨年より3問増えて32問。
- ○大問1は小問集合,大問2は確率,大問3は関数のグラフと図形, 大問4は文字式と連立方程式の利用,大問5は相似の証明(穴うめ)を 含む三平方の定理,大問6はデータの活用と2次方程式。
- ○大問6は花粉の飛散数の測定方法の1つ(ダーラム法)を題材にしている。 問題分が長く、読解力が必要である。また、身のまわりの問題を数学的な 視点で考えて、応用する力が試されている。

★兵庫県の入試は、『数学の新研究』でバッチリ!

■ 関数と図形の融合問題の出題

・例年どおり、1次関数や放物線のグラフと図形を融合させた問題が出題された。

グラフ上にできる図形の面積や 動点と面積の変化の問題も出題されるので、対策が必要である。



新研究で対策!

●「変化のようすに注目!図形上の動点を考える問題」(p. 180~181), 「チャレンジ!関数と図形の融合問題」(p. 184~185)で,応用問題を解く力をつけることができます。

■ 実生活への活用力をみる問題の出題

・身近な題材について,方程式・ 関数・図形などの知識を使って考 える問題がよく出題されているの で,数学的に考える力を養ってお く必要がある。



新研究で対策!

●「思考力・判断力・表現力を問う活用問題」(p. 188~191)で,表やグラフなどを読みとり,数学で学習したことを実生活に活用して考える問題を特集しています。

全体の問題数が多めですが、基本的な問題も 多いので、確実に解いていきましょう。

★兵庫県入試出題内容別·形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名/項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	•	•	•	•
		文字と式		•		•
		方程式		•		
		比例と反比例	•	•	•	•
		平面図形				•
		空間図形	•		•	•
		データの分析と活用	•	•	•	
	1 :	式の計算	•	•	•	•
		連立方程式		•		
		1次関数	•			
		図形の調べ方	•			•
		三角形				•
		平行四辺形				
		確率	•			
		データの比較と箱ひげ図	•		•	
	1 .	式の計算	•			•
		平方根	•			
		2次方程式	•			
		関数 $y = ax^2$	•			
		相似な図形	•		•	
		円の性質	•		•	•
		三平方の定理	•			•
		標本調査		•		•
出題形式別の傾向	大問数		6	6	6	6
	小問数		29	33	29	32
	述 問	図形の証明(説明)				
		その他の説明・証明など			1	
		立式・解法の過程の記述				
		作図(図形)				
		作図(グラフ)				

★新研究で出題した兵庫県の入試問題(令和7年度)

p.101大問5,p.167トライ3,p.185大問2